



ゆめ通信

2018.3.1. No.97

発行 日本養豚事業協同組合

〒104-0033 東京都中央区新川2-1-10

八重洲早川第2ビル6階

TEL.03-6262-8990 FAX.03-6262-8991

第18期支部セミナー・開催概要

第17期はセミナー開催の前の1時間を利用し、組合員と松村理事長とのコミュニケーションの場を設けてじっくりと組合活動の問題点・改善点を意見交換する時間が取れ、豚事協取扱商品の取扱拡大におおいに寄与されました。

第17期の支部セミナーでは山本一郎獣医師による時代に即応したテーマ「EUの種豚改良の方向性と迫りくるEU産輸入豚肉の脅威」と題して、EU養豚産業界の変化の大きな一つに、日本をターゲットとした豚肉づくりが進められていることを序段として、中国の状況について2013年～2016年の母豚数・肉豚生産頭数・豚肉輸入状況の推移を示しながら日本への影響について触れた興味ある講演となりました。

続いて豚事協若手経営者育成塾で2年間100時間の長きにわたって広く学び創り上げたビジネスモデルに関する塾生による講演に加え、矢嶋専務理事、山田参事より日本養豚事業協同組合が取り扱う、飼料・サプリメントの他、AI関連・糞尿公害対策関連商品が紹介されました。

今期のセミナーは昨年同様5月の中部支部（名古屋市）に始まり、6月関東支部（東京都）、7月北海道支部（札幌市）、8月東北支部（仙台市）、9月中四国支部（松山市）、10月九州支部（熊本市）そして11月の沖縄支部（那覇市）で終了いたします。

第18期の事業計画が平成29年1月19日の理事会で承認され、事業計画に基づく支部セミナーの開催要領が下記のとおり決定いたしました。

昨年に続き支部セミナー開催前に豚事協の事業拡大に向けた、理事長・組合員の意見交換会を設定し、啓蒙を図ることを計画しています。今期は繁殖成績に重きを置き、(有)メンデルジャパン専務取締役 蜷川一志氏により「人工授精の基礎、分娩率90%以上に

向けて」と題して精液の優位性と分娩率の向上について講演されます。さらに、生産性の向上として「事例紹介を踏まえた最近の疾病対策と繁殖成績の向上について」と題して(株)バリューファーム・コンサルティング代表取締役 呉克昌氏が中部支部及び九州支部、(株)スワイン・エクステンション&コンサルティング代表取締役 大竹聡氏が関東支部及び北海道支部、(有)アークベテリナリーサービス代表取締役 武田浩輝氏が東北支部及び中四国支部、(有)サミットベテリナリーサービス獣医師 石関紗代子氏が沖縄支部と4名の獣医師の方が、経験やコンサルティングの成績を踏まえて今後の養豚経営の在り方について、講演を戴くこととなりました。

それぞれの支部の講演が特色のあるものとなり大いに期待されることと思われます。このように4名の獣医師の方々の異なる視点での講演を聞く機会はなかなか訪れません。所属の支部だけでなく、他支部のセミナーへの参加で幅広い情報を入手することが出来、経営のお役に立つことが期待できるセミナーとなりますことから、他支部へのより多くのご参加をお待ちしております。

（山田）

開催予定月日	開催支部	開催場所
5月18日（金）	中部支部	名古屋市
6月15日（金）	関東支部	東京都
7月6日（金）	北海道支部	札幌市
8月24日（金）	東北支部	仙台市
9月21日（金）	中四国支部	松山市
10月12日（金）	九州支部	熊本市
11月22日（金）	沖縄支部	那覇市



Dr. 伊東の
ランダム
シンキング

第五回 「ひとがら」について考える

伊東 正吾

自分の能力のなさや心に余裕がなかったことに由来するとは思いますが、在職中は目の前のいろいろな用務に対応することが主体でしたので、その時々感じたことであっても深い部分まで思考できていなかったように思います。一昨年に退職して自分だけの若干ゆとりある時間を過ごし始め、社会の中で起きている多様な出来事を見聞きし、その中で様々な人間像に接した際、「ひとがら：人柄」を強く意識することが多くなりました。

私の手元の広辞苑は旧版（五版）しかありませんが、そこに「人柄」とは、①人の品格。②人品（じんぴん）のよいこと・よい人物。とあり、また「品格」とは、①物のよしあしの程度。②品位、気品。と記されています。

品位というと、すぐに家庭環境が裕福、上流階級と結び付けて想定する傾向もありますが、基本的にはそうではないと思います。一人の人間として、どれだけ他者に対して敬意を持って接することができるか、発想の根底が自分中心ではないことと、他者に対する博愛の気持ちを有し行動している人物こそ品格が高いという範疇に該当すると思います。

【事例一：国内外の皇室での思い】

事例として取り上げることに若干躊躇しますが、今の私が最近のニュースなどから思い浮かぶ人物としては、第一に今上天皇と美智子皇后の両陛下が思い当たります。

当然のことですが、日本国の象徴としての存在であることから、庶民の考えるレベルではないとは思いますが、究極の伝統という環境の中で確たるご自身の考え方を確立されており、旧来の格式・形態にとらわれず、時として新しい風を皇室に吹き込まれているお姿には、大変深く感銘を受ける点が多くあ

ります。

例えば、日本国の象徴であるからこそ高齢になられた現在でも公務として全国津々浦々に出向かれているのですが、出向かれた際には現地の方たちに気軽にお声をおかけになるお姿、そして私が最も感銘を受けた一例としては、東日本大震災の時には、いち早く現地に出向かれ、被災者が共同生活する避難所（体育館など）を慰問され、上履きも履かないで被災者のそばに歩み寄られたお姿でした。天皇后であることを気遣わせることなく、さらには体育館の床に自らひざを折って直接座して激励や慰労の言葉をおかけになっている姿は、本当に凄い行動力であり、心から頭の下がるお姿だと感じました。

このような真摯な姿勢こそ、最高の品格であり品位であると強く胸打たれました。そして、僭越ながら、ほんの少しでも今上天皇や美智子皇后のような思慮と行動を自分がとれるような心でいたいものと、強く思いました。

一方、外国の例ではイギリス王室の故ダイアナ妃のことが第一に思い浮かびました。

説明するまでもなく、ダイアナ妃はイギリス貴族の出身で皇太子妃とされましたが、その感性は極めて自然体かつ庶民的であったようで、日本の天皇后陛下と同じく、地方訪問時には自ら大変気さくに話しかけられるかたであったようです。また、恵まれない子供を救済することや、戦争で残された地雷被害などの社会問題に積極的に取り組まれていたことから、その発言が真意とは異なる形で政治的発言ととられ、的はずれなバッシングを受けたりしたこともあったようです。

最後は不幸な亡くなりかたでしたが、ダイアナ妃を知る身内や関係者の多くの方の一致した評価には、

「彼女はヒトの心に寄り添うことができる天才だった」とあります。彼女自身が懸命に人としての優しさを持ちながら生き、また恐らく、自身に辛い経験があるからこそ、ヒトの心に寄り添うことができる行動力を有した王室の一員であったのではないかと思います。

彼女の感性や子育ての考え方などは、どこか美智子皇后に類似したものを感じます。

【事例二：一般社会での思い】

①国外からの各種報道などの中に、例えば、赤貧で飢えや感染症に苦しむ地域において、ようやく手にしたひとかけらのパンすらも隣にいる者と共有しようとする子供の姿もありました。表面的な姿かたちは良くなくても、人類愛に満ちたこのような者こそヒトとしての品位が極めて高いと言えると思いますし、強く心を打たれるものがあります。子供であろうと大人であろうと、究極の場面でも「かく在りたい」ものだと感じました。と同時に、物にあふれ不自由なく暮らす今の日本人の思考と行動は果たしてこのままで良いのか、と思わざるを得ません。

②私が教員の時には学生に教えられ、大変嬉しく思ったこともあります。とかく学生社会や職場社会は学年や階級が明確な分、そのパワーバランスのためにパワハラなどに発展しやすい環境にあるといえますが、私が感銘を受けた学生は下級生の指導時には本人が意識しているか否かは別として、相手の心を閉ざさせない口調や接し方で指導していました。

私達が忘れてはならないことは、どんな正しい伝

達・指導でも相手が聞き入れ理解できなければ無駄な行為になるばかりか、大切な人間関係を歪めてしまうということです。その点は、いわゆる目上の立場の者の必ず意識すべき点です。このような学生は、必ず社会に出てから組織の中で必要不可欠で、素晴らしい働きをする人物になると信じています。

③また、一般社会で評価を受けるのは通常社会的に認められた業績を上げている人間だけですが、これは評価基準の関係から仕方がないことでもあります。しかし、実直に毎日の生活を送りながら、時に自分の欲得を優先することなく人として最も正しいと思われる方向を選択して社会の構成員として地道に生きている一人一人への尊敬の念を忘れてはなりません。社会の多くはこのような人の力で築かれているのであり、政治家や著名人により成り立っているのではないことを改めて自覚すべきです。

私は実家が農業をしていたこともあります。田舎でお天道様と対話しながら耕作し、日に焼けた顔や手に深く刻み込まれた皺があり、家族をいつくしみながら平凡に生活している方々を最大限に尊敬していますし、彼等こそ、社会における最大の功労者であり素晴らしい人柄だと私は考えています。

【おわりに】

人生において何が一番大切であるのか、また、ヒトとして生まれ社会の中で生活し、何を目指していくべきかなどと問うのは禅問答のようですが、多忙でゆとりを失いがちな現代社会だからこそ、時として正面から深く考える必要があるように思います。



今上天皇・美智子皇后陛下の東日本大震災関係者の避難所訪問時において被災者を直接激励される様子
(写真：東京都)



海外の難民キャンプにおける一情景

シリーズ 豚に翔ける夢
農場訪問ルポ

地域を豊かにする養豚を中心とした地域循環型農業

山形県鶴岡市 株式会社五十嵐ファーム

さくらんぼ、西瓜、ラ・フランス等果物の宝庫、そしてコメの産地としても知られ産物に恵まれた山形県は、工芸品として有名な天童の将棋駒、風物詩として、河原で行う材料は里芋、牛肉、コンニャク、ネギが主体の簡素なものだが、味わい深く美味しい野外料理の芋煮会、そして、スゲ笠に赤い花飾りをつけた花笠を手にし、「花笠音頭」にあわせて街を踊り練りあるくまつりの振り付けは、紅花摘みの作業唄からとったとされる花笠まつりが良く知られています。歴史的には、米沢の上杉藩が著名ですが、その昔は最上氏が栄えた地域です。

米沢の北西に位置するここ庄内地方は、徳川四天王の一人、酒井忠次の孫、忠勝が藩祖の庄内藩の鶴岡を中心とし、芭蕉によって「五月雨をあつめて早し最上川」と詠まれた最上川の流域は米どころとして知られ、北には北前船の寄港地として栄えた酒田があり、西は、日本海の幸に恵まれ、東は山形県村山地方・庄内地方に広がる修験道を中心とした山岳信仰の場として知られた月山・羽黒山・湯殿山、通称出羽三山の懷に囲まれています。三山のそれぞれの山は、羽黒山が現世（正観世音菩薩＝観音浄土＝現在）、月山が前世（阿弥陀如来＝阿弥陀浄土＝来世）、湯殿山が来世（大日如来＝寂光浄土＝未来）という三世の浄土を表すとされます。近世の出羽三山詣では、羽黒山から入り、月山で死とよみがえりの修行を行い、湯殿山で再生する巡礼が多く行われ、生まれ変わり（死と再生）の意味をもった「三関三渡」の旅とされました。庄内平野は、山形県北西部の日本海側に位置する平野であり、この平野とその縁辺部を庄内地方と称し、主に稲作を中心に農業がさかんな地域で、30万余の人々が生活しています。

ユネスコが2004年に創設、創造的な産業の成長により文化の多様性保護と世界の持続的発展に貢献するこ

とを目的として認定する分野は7つあり180都市が加盟しています。その一分野としての食文化創造都市は、世界26都市に及びその一都市として五十嵐ファームが養豚を営む鶴岡市が認定されています（図1）。

五十嵐ファームは鶴岡高専、東北ハム等と共同で、ブドウの剪定枝のスモーク用チップを燻煙材にした燻製ハム・ベーコンを開発し、流通させることで地域の食文化の発展と活性化に貢献しています。

ここあつみ温泉郷の近隣に位置する五十嵐ファームは米づくり庄内平野の南に位置した環境に恵まれた土地で養豚を営んでいます。五十嵐ファームは養豚（母豚106頭の一貫経営）を軸に稲作6.4ha、アスパラガス栽培2.5haの複合経営を行っており、養豚で産出される糞尿は田んぼやアスパラガスの圃場に還元する地域循環型農業を確立しています。鶴岡市の新潟県との県境に位置する鼠ヶ関から山間部に数km上った清流の鼠ヶ関川の川沿いにある、自然豊かな地で営む五十嵐ファームの養豚経営は、繁殖豚舎と肥育豚舎が分離したいわば2サイト養豚です。

有限会社サミットベテリナリーサービスが指導する最新のベンチマーキング結果によると、稼働母豚は107頭であり、自家配合を実施している飼料は飼料用米と米菓が約半分を占める等コスト低減を図り、売上高に占める飼料費の割合は従来2分の1を超えていたものが、現在は3分の1に改善されています。

母豚の品種は大半がTopigsであり、年間1母豚当りの出荷頭数は27.3頭と増加し、年間1母豚当りの出荷枝肉重量も2,160kg（図2）と2,000kgを大きく超えており、平成24年を比較すると、おおむね23,000千円を超える経済効果をもたらしています。売上高飼料費比率34.8%の実績からもその収益性の高さがうかがえます。



図1 鶴岡市の食文化（食文化シンボルマーク）

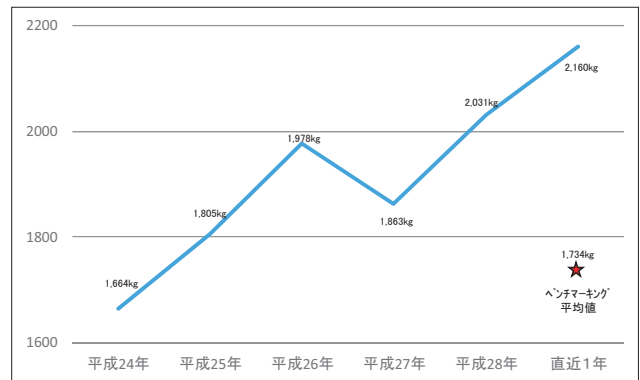


図2

販売面では「あつみ豚・桜美豚」のブランドで地元販売する等、きめ細かい販売を行っており、収益体制の基盤となっております。五十嵐ファームの経営の中心である養豚経営のスタッフは五十嵐夫妻と雇用者2名、子供は3男2女と子沢山で、後継者にも恵まれ今以上の成績の向上と規模拡大を目指しています。

地域との触れ合いも特筆できることの一つです。山形県養豚協会の青年部長として、研修ツアーを実施するなど十数人の養豚農家の後継者を束ね活動し、地元中学校ではバスケットチームの外部コーチを務め鶴岡地域では28年ぶりに全国大会出場を果たし、さらに自農場を開放しての地域交換イベントで芋煮会や焼肉パーティーを毎年開くなど地域貢献を重ねています。アスパラガス栽培では、地元雇用を積極的に行い、地域に十分貢献しております。

五十嵐一春氏は農業の在り方を説いた農業本論に著された、農学は人と自然を理解する学問、美しい地球を維持し、全ての人が心豊かになるための学問、それ

を実践するのが農業との言葉を残した新渡戸稲造に傾注し、地産地消・地域還元・地域雇用と地域に貢献し、地域の健康をコーディネートし、これからますます地域に根付く農業を目指すことと思われま。

（山田）



マックスバリュあつみ店の精肉売場に立つ五十嵐さん



近隣の皆さんと焼肉パーティー



養豚部門のスタッフ
五十嵐一春さん・温子さん夫妻と従業員

Topics

「ゆめシリーズについて」 第5回

専務理事 矢嶋 隆次

今回は種豚用になります。ご存知のように、ゆめシリーズの種豚用は、ゆめ種豚74（妊娠期用）とゆめ種豚78（授乳期用）の2種類あります。Topigsなどのマニュアルからは、本来ですとこの他に種豚育成用が必要となるのですが、豚事協の飼料としては販売していません。

まず、ゆめ種豚74について考えます（表1）。妊娠期用飼料は、妊娠の維持と分娩の準備のための飼料です。「秋茄子は嫁に食わせるな」とのたとえ話があります。姑の嫁いびりを意味した言葉ですが、豚から見るとそれほど意地の悪い言葉ではありません。妊娠母豚にエネルギーを与え過ぎると過肥になり、授乳期に必要な量を食べられなくなるなど、分娩から後の飼育管理に影響します。そのため、栄養価は“そこそこ低い”方が、量でコントロールできるため母豚管理には好都合と言えます。

エネルギーの要求量は、Topigs20のマニュアルではエネルギー要求量については、 $NE = 2,174 \sim$

$2,221\text{kcal}$ となっており、これをDEに置き換えると $DE \div 1.45 \times NE$ なので、 $3,152 \sim 3,220\text{kcal/kg}$ となります。同時にSIDリジンは $0.47 \sim 0.48\%$ で、総リジンとしては $0.55\% \sim 0.56\%$ となります。同じようにケンボローのマニュアルでは $ME = 1,465\text{kcal/lb}$ となっていますので $3,230\text{kcal/kg}$ となります。これをDEに換算すると $3,230\text{kcal} \times 1.04 \div 3,360\text{kcal}$ ($DE \div 1.04 \times ME$)、同様にSIDリジンは 0.60% （総リジン 0.71% ）となっています。表にすると表2のようになります。母豚の増体や子豚の育成能力に驚くほどの違いはないのに、栄養要求量はTopigsとケンボローでは大きく異なります。Topigsに合わせるとコストダウンできます。豚事協としてはTopigsを推進していますし、国内の種豚のシェアとしてはケンボローの方が大きいのでどちらに合わせるのが良いのか迷います。

授乳期用のゆめ種豚78については、DE・リジンともTopigsやケンボローの要求量に比較して低くなっています（表3）。Topigsやダンブレッドの離乳成績

表1 ゆめ種豚74原料表示

原材料の区分	配合割合	原材料名
穀類	67%	とうもろこし
そうこう類	15%	ふすま
植物性油かす類	14%	大豆油かす
その他	4%	アルファルファミール、炭酸カルシウム、動物性油脂、食塩、リン酸カルシウム、パン酵母
※注1. 原材料名は、原則として配合割合の多い順である		
注2. () 内の原材料は原料事情等により使用しないことがある		
CP13%以上、TDN74%、(DE3,260kcal、総リジン；0.71%)		

表2 種豚妊娠期用の比較

	DE	総リジン	有効リン	カルシウム
ゆめ種豚74	3,260 (74.0)	0.71	0.43	0.86
Topigs	3,220 (73.0)	0.56	0.36	0.80
ケンボロー	3,360 (76.0)	0.71	0.40	0.85

注：() 内はTDN、有効リンはフィターゼの効果を加味した数値。

が高くなってきたことに合わせケンボローも改良されてきているので、授乳期用の飼料は一昔前では考えられないような栄養価の高いものが要求されるようになってきたようです。

ゆめ種豚78も高エネルギー飼料にしたいのですが、

現在添加できる飼料用油脂は、添加量を多くすると母豚が食べなくなり、かえってマイナスになります。しかしながら、母豚が高能力になってきていますので、ゆめ種豚78を高栄養にすることを考えていかなくてはならないと思います。

表3 ゆめ種豚78の原料表示

原材料の区分	配合割合	原材料名
穀類	66%	とうもろこし
植物性油かす類	29%	大豆油かす
その他	5%	動物性油脂、炭酸カルシウム、リン酸カルシウム、食塩、パン酵母
※注1. 原材料名は、原則として配合割合の多い順である		
注2. () 内の原材料は原料事情等により使用しないことがある		
CP13%以上、TDN77.5%、(DE3,420kcal、総リジン；1.0%)		

表4 他社種豚妊娠期用飼料の原料表示

原材料の区分	配合割合	原材料名
穀類	64%	とうもろこし、マイロ、小麦
そうこう類	17%	米ぬか、コーングルテンフィード、ふすま、とうもろこし、ジスチラーゼグレインソリュブル
植物性油かす類	13%	大豆油かす、なたね油かす、コーンジャームミール、(ごま油かす)
動物質性飼料	1%	魚粉
その他	4%	リン酸カルシウム、糖密、炭酸カルシウム、動物性油脂、食塩、パン酵母、飼料用酵母、バガス、(パイナップルかす)
※注1. 原材料名は、原則として配合割合の多い順である		
注2. () 内の原材料は原料事情等により使用しないことがある		
CP13%以上、TDN75% (DE3,310kcal)		

表5 他社種豚授乳期用飼料の原料表示

原材料の区分	配合割合	原材料名
穀類	66%	とうもろこし、小麦、玄米、(マイロ)
植物性油かす類	20%	大豆油かす、なたね油かす、(コーンジャームミール)
そうこう類	7%	ふすま、米ぬか、(コーングルテンフィード)
動物質性飼料	1%	魚粉
その他	6%	動物性油脂、糖密、リン酸カルシウム、炭酸カルシウム、食塩、飼料用酵母、乳酸菌、乾燥酵母細胞壁
※注1. 原材料名は、原則として配合割合の多い順である。		
注2. () 内の原材料は原料事情等により使用しないことがある。		
CP15%以上、TDN78%、(DE3,440kcal)		

表6 種豚授乳期用の比較

	DE	総リジン	有効リン	カルシウム
ゆめ種豚78	3,420 (77.5)	1.00	0.43	0.97
Topigs (1腹1日増体2.9kg)	3,570 (81.0)	1.13	0.43	0.90
ケンボロー (1腹1日増体2.7kg)	3,500 (79.5)	1.12	0.45	0.85

注：() 内はTDN、有効リンはフィターゼの効果を加味した数値

東北地域養豚生産基盤強化のための若手研修会開催

1月12日仙台市に於いて、東北農政局との共催で東北地域における養豚若手経営者・後継者・農場関係者等を対象に「東北地域養豚生産基盤強化のための若手研修会」を開催しました。

講師に稲吉克仁氏（有）マルミファーム代表取締役社長）および石関紗代子氏（有）サミットベテリナリーサービス）をお招きし、稲吉氏には「生産性向上と経営改善のために取り組んだ6つのポイント」について、石関氏には「PED等慢性疾病への対応と導入豚の免疫付与」についてご講演いただいた後、講師のお二人と橋本友厚氏（株）アーク専務取締役）にも加わっていただき、蛸名広志氏（東北農政局生産部畜産課長）の司会で「養豚生産性向上の取り組みを通じた生産基盤の強化について」をテーマとし

てパネルディスカッションを行いました。

JASVベンチマーキングで3年連続“母豚1頭当たり粗利益部門最優秀賞”を受賞している稲吉氏は生産性向上の要因として、“オールインオールアウトの生産システム”“リキッドフィーディング”“種豚Topigs”を、経営を改善・継続するための要因として、“情報・データの収集と分析”“人材育成と管理技術”“地域との関わり”を挙げ、それらについて図やグラフを用いて具体的に分かり易く説明されました。ため息をつきながら聞き入っている参加者の様子が印象的でした。

寒い時期にも拘らず80名弱の方々が集い、活発な意見交換の場となりました。

（東野）

豚事協の年間行事

理 事 会

第 1 回	平成30年 1月19日（金）（東京）
第 2 回	平成30年 2月16日（金）（東京）
第 3 回	平成30年 4月20日（金）（東京）
第 4 回	平成30年 7月20日（金）（東京）
第 5 回	平成30年10月19日（金）（東京）

支 部 会

中 部 支 部	平成30年 5月18日（金）（名古屋）
関 東 支 部	平成30年 6月15日（金）（東京）
北 海 道 支 部	平成30年 7月6日（金）（札幌）
東 北 支 部	平成30年 8月24日（金）（仙台）
中 四 国 支 部	平成30年 9月21日（金）（松山）
九 州 支 部	平成30年10月12日（金）（熊本）
沖 縄 支 部	平成30年11月22日（金）（那覇）

女 性 部

第10回女性部セミナー	未定（北海道）
-------------	---------

そ の 他

海外視察研修	平成30年11月10日～17日（オランダ・ドイツ）
--------	---------------------------

※青字は平成30年3月1日以降の行事となります。都合によっては変更・中止となる可能性もありますこと、ご了承下さい。

編 集 後 記

プレミアムフライデーをご存知ですか？2017年に日本国政府と経済界が提唱した個人消費活性化のための取り組みで、それが実施される毎月末の金曜日のことを言います。実施している企業は従業員に毎月末金曜日の午後3時退社を奨励し、外食・小売・旅行業などはそれを前提としたサービスや商品販売するなどの取り組みが行われています。

生き物を相手とした畜産業で実施するのは無理な話だと思われるかもしれませんが、やり方によっては仕事の効率化や意識改革に繋がるかもしれません。従業員全員に対して一度だけではなく交代制でもいいと思います。但し、実施対象となる従業員の仕事は、上司がしっかり役割分担を考え、他の人に割り振る必要があります。「適当に周りの人が対処して！」という考え方では、休んでいる他の従業員の仕事を自ら進んで対応してくれる従業員だけが負担することになり、不公平が生じ、継続しての実施は困難になるでしょう。始業時間から終業時間まで漫然と作業をするのではなく、限られた時間内で効率よく作業をすること、誰かが休んだ際でも他の者がフォローできる体制を整えておくことも大事なことです。

政府が奨励する取り組みを率先して実施すれば業界のイメージアップにも繋がるのではないのでしょうか。また、実施する企業が増え外食産業が活性化することにより、豚肉の消費拡大にも繋がるかもしれません。ただ1つ、通常何処も忙しい月末ではなく、月初の方が多くの方々にとって導入しやすかったのではないかとというのが個人的な意見です。（東）